

県内ではモニリア病の胞子の飛散が始まっています。近年本病が発生した園地では、遅れずに防除してください。

現在の状況

4月7日現在、県中部の定点調査圃場において、胞子を飛散する子実体「生育程度IV型」が確認された(図1)。また、県内のりんごは平年より早く展葉期になっており(表1)、今後は降雨(5mm程度)の都度、感染することが懸念される。

防除対策

- 1 芽出10日後(展葉期)防除を実施する。特に、芽出当時の防除を省略した園地では、この時期の防除が遅れないように注意する。防除薬剤の散布予定時に降雨が想定される場合、降雨前に繰り返して散布することが重要である。
- 2 本病が発生した園地では、園地を良く確認し、葉ぐされ(図2、3)を見つけしだい摘み取る。また、葉ぐされを見つけた場合は直ちにアンビルフロアブル又はオンリーワンフロアブルを散布し、葉ぐされの病斑拡大(花ぐされ)を防ぐ。

表1 りんごの生育(ふじ・わい性樹)

年次	発芽	展葉
本年	3/27	4/7
平年	4/7	4/16
前年	4/5	4/15

※岩手県農業研究センター(北上市)

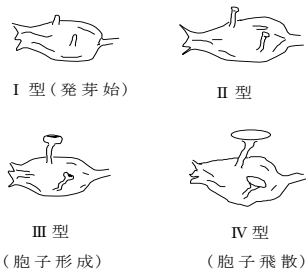


図1 子実体の生育程度



図2 葉ぐされの初期病斑



図3 拡大中の病斑

【利用上の注意】

- ・本資料に掲載した農薬は、令和2年3月31日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。
- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際には、(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆病害虫防除に関する情報は、いわてアグリベンチャーネット

<https://i-agri.net/Index/gate003> からご覧いただけます。